

■ 1) 情報交換 4 点

▼「こどものまち」をやろうとしたきっかけ、動機

本市では、2006年10月、「市民が主役のまちづくり」を進めるためのルールである「自治基本条例」を施行した。この条例が目指しているのは、今から30年以上前に制定された「札幌市民憲章」が目指す住みよいまちづくりである。

そこで、未来を担う子ども達に、この市民憲章に盛り込まれている、働くことやルールを守ること、きれいな街をつくることの大切さを、仮想空間での経験を通じて学んで欲しいと思ったことが、開催のきっかけとなった。

▼準備から参画している子どもたちは、??人、(年齢層別に)

初開催で準備期間も短かったことから、今回は準備に参画していない。

▼子どもたちを、どう集めるかへの工夫、悩み

小学校長会に依頼し、市内全小学校を通じ、対象である小学3・4年の児童全員にチラシを配布した。

結果的に、予想を上回る入場者があり、大変ありがたいことであると感じている。

▼より主体的に参画してもらうための工夫、悩み

同伴の保護者が大人立入禁止の区域に入ってきてしまい、子どもに注意や指示をする場面が一部に見受けられた。

保護者へのルール徹底については、今後の課題であると認識している。

一方で、直接ブースに張り付く大人スタッフについては、子どもの自主性を尊重しながら、真に必要な場面での的確な助言をするという、忍耐力や注意力、判断力が求められる。今回は、スタッフの人数や事前説明も十分とはいえず、ボランティアに多大な苦勞をかける結果となってしまったことが反省点である。